

特集 防災情報

災害に備えて～お役立ち情報

ここで備えの総点検！
みんなでチェックしてみよう

自宅や家の周りはいじょうぶ？

- 家具や家電製品などの転倒防止対策を行っていますか
- 棚や家具の上から重いものが落ちてこないようになっていますか
- 食器棚などの扉が開かないように、飛び出し防止器具を取り付けていますか
- 窓ガラスや戸棚のガラスに飛散防止フィルムを貼っていますか
- 玄関など出入り口に倒れやすいものや避難の障害となるものを置いていませんか
- すぐ取り出せる場所に消火器を備えていますか
- ブロック塀など地震の際に倒壊のおそれがあるものの点検を行っていますか
- ハザードマップ（各種災害の危険予測地図）で自宅周辺の災害リスクを把握していますか
- 自宅の耐震性を確認し、必要な場合補強などを行っていますか

食料・水などの備えはOKですか？

- 食料品や飲料水（1人1日3リットル）は家族構成にあわせて、一週間程度の備蓄をしていますか
- 風呂の水は常に張っておくなど、生活水の確保をしていますか
- 非常持ち出し袋を準備し、すぐに取り出せるようになっていますか
- 常備薬、服用中の薬、「お薬手帳」の備えをしていますか
- 懐中電灯や携帯ラジオ、携帯電話の充電器、予備の電池などを準備していますか
- ライフラインが止まっても生活できるように、カセットコンロなどを準備していますか
- 枕元には、懐中電灯や、割れたものでケガをしないようにスリッパなどを準備していますか
- 冬は防寒用品、夏は熱中症対策など季節に応じた備えをしていますか
- ガソリン不足に備えて、自動車などは平時からこまめに給油していますか

家族での安否確認の方法は決まっていますか？

- 家族で非常時の連絡方法を話し合っていますか
- 「災害用伝言ダイヤル171」、「災害用伝言板」などの利用方法を確認していますか
- 避難場所や安全な避難経路を確認していますか
- 地震や津波など自然災害に対する知識と避難方法などを家族で話し合っていますか

非常持出品リスト

- 飲料水、食料品
- 常備薬、服用中の薬、お薬手帳
- 保険証
- 衣類、下着、タオル
- 軍手、マスク
- 雨具、レジャーシート
- 寝袋、毛布
- 筆記用具
- 現金（小銭が便利）
- キャッシュカード
- 使い捨てカイロ
- 携帯ラジオ、懐中電灯、予備電池
- ティッシュペーパー、生理用品
- ビニール袋
- 予備めがね
- 粉ミルク、ほ乳びん（赤ちゃんがいる場合）
- 携帯電話、スマートフォン、充電器

ここで ななちゃんからの防災豆知識！

参考にしてね！

- ◆避難するときは、使い捨て手袋、マイ箸、トイレトペーパー、ラップも持っていくといいですね。避難所には充分準備されていない可能性があります。
- ◆災害時新聞はとても便利です。下に敷いたり、毛布代わりにもなります。
- ◆ペットボトルキャップに画鋲などで穴をあけてみてね。ペットボトルを使って手を洗ったり、傷口を洗ったりする時に水の節約にもなるし便利！

新型コロナウイルスに対応した避難対策

- 「避難」は「避」を「避」けることであり、安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。
- 避難先は小・中学校等の市が指定する場所に限らず、安全な親戚・知人宅に避難することや自宅に留まり安全を確保することも避難行動の一つです。
- 避難所に避難する場合はマスク、体温計、及び手洗い用石鹸などの衛生用品を持参するとともに、季節にあつた服装、持参品で避難してください。
- 避難場所では他の人と2メートル程度の間隔をとり、ウイルスが飛沫して感染する可能性を少しでも減らしてください。

*仙台市ホームページより引用

避難施設の役割

指定避難所

避難のための広場と建物を備えた施設で、避難生活を送るための場所として市立の小学校、中学校、高等学校等が指定されています。

◆七郷地区の指定避難所
七郷小学校・七郷中学校・荒井小学校
蒲町小学校・蒲町中学校

補助避難所

指定避難所を補完する施設です。指定避難所での生活が困難な方や地域の立地条件から指定避難所への避難が困難な方を受け入れたり、指定避難所の収容人数を超えた場合等に活用されます。

◆七郷地区の補助避難所
七郷市民センター
七郷六丁目コミュニティ・センター
蒲町コミュニティ・センター

がんばる避難施設

地域の方々自主運営する施設です。地域で備蓄などの準備を行い、災害に備えます。

◆七郷地区のがんばる避難施設
ちやいるどらんど荒井こども園

いつとき避難場所

地震災害発生直後に、住民が家屋倒壊の危険などから身の安全を守ったり、自主防災組織による避難行動や安否確認を実施するために集合する場所です。

◆七郷地区のいつとき避難施設
各町内会の公会堂・集会所
町内会によっては、公園を指定している場合もあります。

津波避難施設

仙台市では東日本大震災の津波被害を受けた東部地域に津波避難施設を整備しています。
七郷地区には下記の施設が整備されています。

笹屋敷津波避難ビル

収容人数は約300人。車椅子等での避難に配慮し、スロープが設置されています。また、3階には屋内避難スペースがあり、空間を仕切るアコーディオンカーテン、広く設計されたトイレやベンチの設置など、避難時のストレス、高齢者等に配慮されています。水や食糧等備蓄品は、1日分が整備されています。

避難の丘

荒井地区には公園や施設等を訪れた利用者に対して、一時避難場所とする避難の丘が、荒井小学校北側と南側2ヶ所に整備されています。2ヶ所とも高さは10メートル。特に、南側の避難の丘は5,300人が避難可能で、沿岸部5ヶ所に整備されている避難の丘で最大の収容力を持っています。

避難階段

震災時に津波をせき止める役割を果たした仙台東部道路を緊急避難場所とする避難階段が、七郷地区には2ヶ所整備されています。場所は藤田地区と神屋敷地区。可能性を確認してみてください。

せんだい農業園芸センター みどりの杜情報

旬の野菜を堪能!

ラーメンからイタリアンへ！みどりの杜の食堂がリニューアルオープン！「旬菜×パスタDACCHA（ダッチャ）」は、いま、ココでしか食べられないパスタを目指し、地元の食材、旬の食材、手作りにこだわり素材そのものの味を引き出す調理を心がけます。パスタの他にグラタンやドリア等のオープン料理も加わりました。コーヒーやスイーツのカフェメニューもあります。

【メニュー】
●旬菜×パスタ（サラダ付き）各種¥850/大盛¥1,050
●ケーキとコーヒーセット¥600
●ケーキ各種¥450 ●コーヒー¥200 ●シルフソフト¥300

■店舗営業時間：11時～16時
●ランチ 11時～15時ラストオーダー
●カフェ 11時～15時45分ラストオーダー

おいしそう!

花の見ごろ情報

【園内のお花で春の訪れを感じて！】
梅……………3月下旬～4月上旬
スイセン……………4月上旬～4月中旬
チューリップ……4月中旬～5月上旬
藤……………5月上旬
バラ……………5月下旬～6月上旬

【みどりの杜観光農園】
トマト狩り、ブルーベリー狩り、ぶどう狩り、イチジク狩り、なし狩り、リンゴ狩りなど、1年を通じて収穫体験ができます。オリジナルジュレートや、園内でとれた果物、トマトや地元農家の野菜などの直売をしています。

住 仙台市若林区荒井字切新田13-1
☎ 022-288-0811 開 9:00～17:00（冬期間11月～2月：9:00～16:00）
休 月曜日（祝日の場合 要平日） P 約160台
※ 地下鉄東西線荒井駅から仙台市営バス「震災遺構仙台市立荒井小学校ゆき農業園芸センター前下車」

海岸公園冒険広場・馬術場情報

冒険広場

自然の中で、自由に遊ぶ

天気の良い日には、家族で賑わうぼうひろ。パーベキューや芋煮会ができるデイキャンプ場は昨年より利用者が増えているとのこと。園内歩道の落書きエリアは、緊急事態宣言解除後に大型バス駐車場まで拡大。元気いっぱいの子どもの絵がたくさん描かれています。ふわふわどーむやローラースライダー、そして自由な遊び場「冒険遊び場」ではプレーライダーが見守ります。ぼうひろで思いっきりあそぼ!

住 仙台市若林区井戸字開発139-1
☎ 022-289-6232 開 9:00～17:00
休 火曜日（祝日の場合 要平日） P 197台
※ 無料（デイキャンプ場のみ有料）*デイキャンプ場利用期間4/1～11/30
※ 自動車▶県道10号塩釜亘理線沿い（かさ上げ道路）
開上大橋から5分 仙台南部道路今泉インターから10分

馬術場

気軽に馬とふれあえる場所

海岸公園馬術場は、2001年みやぎ国体の「馬術競技会場」として、また、国体後の「市民スポーツとしての乗馬の普及振興」を目的として設立されました。東日本大震災により大きな被害を受けましたが、震災から7年4ヶ月後の2018年7月に営業を再開しました。気軽に馬とふれあうことができる馬術場では、ひき馬やえさやり体験、厩舎の見学など様々な体験ができます。馬の大きなからだや美しい瞳はとも印象的。ぜひ近くで馬の魅力を感じてみませんか？

住 仙台市若林区井土字沼1
☎ 022-349-5038 開 9:00～17:00
休 火曜日（祝日の場合 要平日） P 63台
※ 自動車▶県道10号塩釜亘理線沿い（かさ上げ道路）
開上大橋から5分 仙台南部道路今泉インターから10分

せんだい3.11メモリアル交流館情報

東部沿岸地域の「かつて」と「いま」をつたえる

せんだい3.11メモリアル交流館は、東日本大震災の被害状況や復興への取り組みを紹介するとともに、仙台市東部沿岸地域の「かつて」と「いま」をつたえる施設です。常設の展示に加え、企画展やイベントも開催しており、様々な切り口から震災について知ることができます。また、震災関連の書籍を集めた図書閲覧コーナーや、「海辺のメモリアルソング」をはじめとするグッズの販売もありますので、荒井にお越しの際は、ぜひ一度お立ち寄りください。

企画展
「わたしは思い出す
—10年間の子育てからさぐる
震災のかたち」
開催中～令和3年6月13日（日）
東日本大震災の前年に生まれた子どもをもつ母親の育児日記という個人の記録を紐解きながら、震災からの10年を振り返ります。
（入場無料）会期中ぜひお越しください。

小冊子

「絵図からたどる仙台市東部沿岸地域の歴史と記憶」(仮)

※令和3年3月刊行予定

地域の違いや古くからの歴史的な経緯によって、それぞれ独自の地域性が形づくられてきた仙台市沿岸部。その興味深い歴史を掘り下げ、小冊子にまとめて発行します。江戸時代に描かれた沿岸部の絵図や、震災前・近年の空中写真などの比較、仙台市博物館所蔵の資料等も掲載します。各地域の歴史と魅力を、震災から10年となるこの機に文章として残し、継承していきます。執筆は郷土史家・元仙台市史編集室長の菅野正道さんです。

住 仙台市若林区荒井字形85-4 地下鉄東西線荒井駅南口
☎ 022-390-9022 開 10:00～17:00
休 月曜日（祝日の場合 要平日）
※ 地下鉄東西線荒井駅の改札を出てすぐ

荒浜地区情報

JRフルーツパーク 仙台あらはま

体験型観光果樹園2021年3月開業

震災遺構仙台市立荒浜小学校南側に位置する「JRフルーツパーク仙台あらはま」。ずらっと並ぶハウスの中ではないちご・ブルーベリー・リンゴなど8品目156品種もの果物が栽培されています。通年で摘み取り体験ができる果樹園は東北で初めてだそうです。南北に約800m、東西に100mもある敷地内には、公園、レストラン、直売所もあり散歩にも最適。海岸沿いという地形に合わせた栽培方法にこだわり、日々勉強しながら成長の様子を見守っています。3月にはいちご狩りが楽しめます。ぜひ足を運んでみてください。

住 仙台市若林区荒浜新二丁目17-1
☎ 022-390-0770 P 約150台（大型バス4台含む）

平松農園

荒浜の地で農業をつなぐ

富山県から大学進学を機に仙台へ来た平松希望さん。東北大学に合格し、入学手続きのため2度目の来仙時に、東日本大震災に遭いました。学生時代に震災ボランティア「リルーツ」のメンバーとして4年間活動、卒業後は2年間農業を学び、2017年に独立就農。平松さんは「震災前の荒浜地区を知らないけれど、地域の方の話や当時の映像を見て、荒浜の農業をこれからずっと後世に紡いでいきたい」と心に決め、今自分ができることを日々考えながら農業と向き合う毎日。今年から震災遺構仙台市立荒浜小学校の東西に隣接する土地を借り、1年目はマリーゴールドを植えてまずは土作りから。夏頃にはそのマリーゴールドが一面に咲き誇ります。

荒井小学校紹介

木のぬくもり感じる小学校

荒井小学校は令和2年4月に仙台市128番目の市立小学校として開校しました。七郷地域はもともと豊かな田園地帯が広がっていましたが、荒井土地区画整理事業と地下鉄東西線開通により住宅地へと大きく変貌しています。周辺のショッピング施設の充実や交通の利便性向上に伴い人口も増加。児童数が著しく増えた七郷小学校から分離し創立されました。初年度は18クラス474人の児童が通っています（令和2年4月現在）。地上3階の校舎、荒井児童館が併設され、宮城県の木材をふんだんに使い温かく明るい印象が魅力です。

校章

この校章は新しい時代に合わせ、今までの校章にはない左右非対称のデザインを採用しました。六角形の中心に荒井小のイメージロゴを配置し、右側に描かれた稲穂は六丁の目一伊在地域が昔から実り豊かな田園地帯であったことを表しています。また、左側大中小の3つの円はそれぞれ、夢・希望・絆を表し、荒井小学校で学ぶ児童の想いをイメージしました。形状・文字・色ともに斬新で、目覚ましい発展を遂げる荒井地域にふさわしいデザインとなっています。

図書室・コンピューター室

2階にある図書室は3階コンピューター室と室内の階段でつながっています。エアコンはコンピューター室にしか設置されていませんが、階段をつたって冷気が図書室に降りてくる面白い作りになっています。図書室のイスはオレンジと黄色でとてもかわいいですよ。

かめい!

多目的ホール

各階に設置されている多目的ホール。1階の多目的ホールは昇降口を入るとすぐであり、昇降口がとても広く感じられます。2・3階は教室としても使えるように移動できる仕切りがあります。

体育館

体育館といえば校舎から外通路を通って行くというイメージですが、荒井小学校の体育館は校舎と一体化した造りになっています。そのため、2階の廊下からは体育館内を見ることが出来ます。道路に面して体育館玄関ホールがあり、そこからは直接体育館に入ることができます。

荒井ファーム

荒井ファームの畑は校舎の2階にあり、季節の花や野菜を栽培しています。初年度は夏の長雨にも負けず、なす、きゅうり、ピーマン、ズッキーニ、ゴーヤ、とうもろこし、枝豆、すいか、ひまわり、マリーゴールドなどたくさんの植物を育てていました。秋には仙台伝統野菜の白菜や雪菜、小松菜などを育て収穫。校舎内にあるので、すぐに土と触れ合え、身近に成長を観察できる場所です。

夏の荒井ファーム

冬の荒井ファーム

tekuxteku 七郷防災マップ



わたしたちが住むまちの避難所はどこ？
災害時に落ち着いて対応ができるよう備えることが大切です。
避難所まで安全に避難できるのか、散歩しながら道程を確認してみてくださいね！

凡例

- 指定避難所
- 補助避難所
- がんばる避難施設
- 津波避難ビル
- 避難階段
- 防災サイレン
(津波情報伝達システム屋外拡声装置)
- 避難の丘
- 公園
- 小中学校
- 幼稚園
- 保育園
- こども園
- 神社
- コンビニ
- 公衆トイレ
- 冠水したことがある道路

仙台市から避難情報が発令された場合には、速やかに避難するよう心掛けましょう。最寄の指定避難所に避難するほか、親戚・知人宅や自宅での安全確保も検討しましょう。
七郷地区の各町内会では、安否確認のため避難先(指定避難所)を指定しています。町内会が指定した指定避難所以外に避難された場合は、災害発生から5日以内に指定された避難所に連絡してください。
(指定避難先は色で表示してあります。地図上でお住まいの場所をご確認ください)

避難先	連絡先
七郷小学校	288-5024
七郷中学校	288-5023
荒井小学校	352-3202
蒲町小学校	286-4951
蒲町中学校	285-6521

*伊在2丁目にお住まいの方は、荒井小学校が指定避難所となりますが、蒲町中学校についても指定避難所としています。



七郷地区には田んぼや用水路がいっぱいあるよ！
避難するときは注意しようね！！

危ないところを確認！
避難所まで歩いてみてね！
てくてく てくてく

荒浜には観光果樹園や深沼海水浴場等施設来場者のための避難施設が整備されています。確認してみてくださいね！